

## ギャラリー展示

# そう そう 錚々展 10th ANNIVERSARY thanks emotions for all



■期間：2015年12月10日（木）～2016年2月2日（火） 元旦のみ休廊 / 入場無料

■時間：11:00～20:00（最終日は17:00まで）

■場所：オリエンタルホテル広島 1階 オリエンタルデザインギャラリー（広島市中区田中町6-10）

### ■展覧会によせて

オリエンタルホテル広島は2016年に開業10周年を迎えます。1階オリエンタルデザインギャラリーでは、ホテルオープン以来“デザイン”に特化した豊富なジャンルのアーティストを様々にご紹介してきました。

「あのアーティストの作品がまた観たい！」というお客様のお声を受けて、このたびオリエンタルデザインギャラリーと馴染み深いアーティストの作品を中心に—また、今展で初めてお目にかかるアーティスト3名の作品をプラスしてオムニバス形式で展示販売いたします。

生活を彩る数々の作品を通して、これからもより一層皆さまの日常が特別なものになれば、と願っております。

オリエンタルデザインギャラリーならではの錚々たる顔ぶれのアーティスト作品を、どうぞ一挙にご覧ください。

## ■お問い合わせ

オリエンタルデザインギャラリー 082-240-9463(直) 受付時間 11:00~20:00

※講演会・レセプションの開催はございません。

## ■錚々展 10th ANNIVERSARY thanks emotions for all 出展作家プロフィール



### 浅葉克己 [アートディレクター]

1940年神奈川県生まれ。桑沢デザイン研究所、ライトパブリシティを経て、1975年浅葉克己デザイン室設立。以後広告界の歴史に残る数々の名作CMやポスターを制作する。代表的な仕事に、西武百貨店「おいしい生活」、キリンビバレッジ「日本玄米茶」パッケージデザイン、ミサワホーム「家ではスローにん。」「ミサワバウハウスポスター」など。中国に伝わる象形文字「トンパ文字」に造詣が深い。東京TDC賞、毎日デザイン賞、日本アカデミー賞最優秀美術賞、東京ADCグランプリ、紫綬褒章、旭日小綬章など受賞歴多数。東京TDC理事長、東京ADC委員、JAGDA理事。東京造形大学、京都精華大学客員教授、桑沢デザイン研究所10代目所長。書家・石川九揚に師事。卓球六段。



### 有高扇山堂 [プロダクトブランド]

1930年創業。1997年に水引業界初の「現代の名工」に認定された有高三男に象徴される技術を生かした商品作りを行っている。髪を束ねる元結に代わり、祝儀袋、結納飾りへと時代とともに変化を続けている愛媛県の伝統産業水引。近年、結納等の儀式の簡略化が進み、水引という伝統工芸を通して日本文化の継承の難しさを感じる中、デザインとのコラボレーションにより、有高扇山堂の創業から変わらぬ「お祝い」へのこだわりを現代のライフスタイルに進化させた。



### 内田繁 [インテリアデザイナー]

1943年横浜生まれ。日本を代表するデザイナーとして幅広い活動を展開するほか、茶室研究、日本文化研究、近代デザイン論をまとめ、教育活動や世界の大学等で講演、現代の茶室や茶道具等の発表を通し、世界的な評価を受けている。毎日デザイン賞、芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小綬章など受賞歴多数。代表作に山本耀司のブティック、神戸ファッション美術館、クレストタワー一連の内部空間、門司港ホテル、オリエンタルホテル広島、ザ・ゲートホテル雷門等の他、茶室「受庵・想庵・行庵」はヨーロッパの美術館を巡回。メトロポリタン美術館、モンテリオール美術館等に永久コレクション多数。



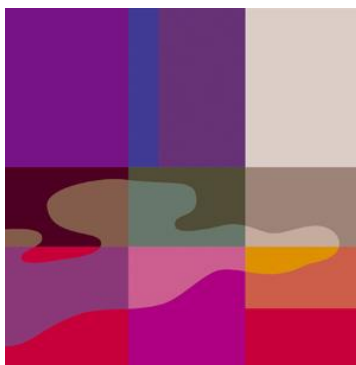
kakapo [テキスタイルブランド]

日本国内の生産にこだわる、オリジナルテキスタイルブランド。プリント、織物、刺繍等の生地を展開。もともと、アパレル向けの生地の企画、生産に携わってきた麻生桂志と、インテリア、アパレル、他、様々な用途の生地をデザインしてきた新田陽子の二人で2012年にスタート。「流行やファッションに影響され、消耗するのではなく、世代を超えて10年後も、20年後も愛され、使われるファブリックを」を念頭にデザインし、生産しています。シャツをはじめ、テキスタイルの可能性を広げるプロダクトも展開。



小泉誠 [家具デザイナー]

1960年東京生まれ。デザイナーの原兆英・原成光両氏に師事した後、1990年コイズミスタジオ設立。箸置きから建築まで生活に関わる全てのデザインを手掛ける。2003年にはデザインを伝える場として東京の国立市に「こいずみ道具店」を開きリアルなデザイン活動を展開している。



小島良平 [グラフィックデザイナー]

1939年、岩手県生まれ。武蔵野美術短期大学でグラフィックデザインを学んだ後、銀座・三愛宣伝課に入社。1963年に当時デザイン界で脚光を浴びていたライトパブリシティに入り、主に伊勢丹の企業広告を15年に亘って制作。

他にミキモト、ブリヂストン等の広告デザインに関わる。1976年に小島良平デザイン事務所を設立。デザイン誌「デザインニュース」の表紙を20年間制作。地下鉄の路線図の提案、日本野鳥の会へのデザインサポート、水族館や博物館のビジュアルデザイン、公共空間のグラフィック、企業のアイデンティティデザイン等その活動の領域は広い。



Sㄥㄥ(エス) [プロダクトブランド]

2003年、SIMPLICITYのプロダクトブランドとして設立。日本が誇る様々な伝統技術を用いて、現代における新しいスタイルを提案すべく「生活道具の創造」に取り組んできました。陶磁器をはじめ、漆や鐵など、それぞれの素材がもつ新たな可能性を追求し、高度な技術をもった日本各地の職人の方々とともに製作しています。過去から現在、そして現在から未来へと、日本の伝統文化を繋ぐべく、匠の技による「これからの伝統」を世界に発信し、上質で豊かな生活を提案していきます。



TASSI [電球のオブジェアーティスト]

造形デザイナー。建築と家具製作を学ぶ。歴史・文化に敬意を払いながらも、今を意識し、型にとられず、誰もが持つ五感を刺激するような作品を創ることを目指す。2015年4月、東京・青山にて初個展。茨城県在住。



中野かおる [和紙ジュエリーアーティスト]

展示履歴

Contemporary Japanese Jewellery 英国巡回展 / 日本クラフト展 “From The Rising Sun” (ベルギー) / Paper jewellery exhibition : Triennale Design Museum Milan Italy Tokyo Art Fair 東京 / New York International Art Fair / KATACHI -The essence of Japanese Design- flow gallery, London

・個展

Kehoe Galleries, Melbourne Australia / Galerie ワッツ, 東京



NUNO [テキスタイルブランド]

人の皮膚に直接触れるテキスタイルは、皮膚を通して人の五感に直接働きかけ、豊かな情報を人に伝えます。「今という時代の息吹き」「時を経た伝統の薫り」「新しい感性のぬくもり」「未来を感じる肌触り」などなど。

言い尽くせない豊かな情報が、布を通して人に直接伝わります。

私たちは、布を‘ことば’を越えた‘ことば’と促え、布を通して、布と人、人と人との交流をより豊かに築いてゆきたいと考えています。



ひびのこづえ [コスチュームアーティスト]

静岡県生まれ 東京芸術大学美術学部デザイン科視覚伝達デザイン卒業。

コスチューム・アーティストとして広告、演劇、ダンス、バレエ、映画、テレビなどその発表の場は、多岐にわたる。毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞受賞 他 展覧会多数。97年作家名を内藤こづえより改める。NHK教育テレビ「にほんごであそぼ」のセット衣装を担当。サントリー-BOSS シルキーブラック CM 衣装、KIRIN「生茶 緑の野菜のブレンド茶 plus」CM 衣装担当。大塚愛「I's」PV 衣装担当。歌舞伎「野田版 研ぎ辰の討たれ」衣装、野田秀樹作・演出「ザ・キャラクター」「EGG」「MIWA」衣装担当。「LIVE BONE」森山開次×ひびのこづえ×川瀬浩介によるダンスパフォーマンスを展開中。



ミナ ペルホネン [ファッションブランド]

1995年、「minä」の名でデザイナー皆川 明により設立されたファッションブランド。時の経過とともに色あせることのない服を目指し、オリジナルの図案によるテキスタイルデザインから服づくりを進める。2006年、毎日ファッション大賞（毎日新聞社主催）大賞受賞。東京・白金台と京都に直営店を置き、洋服のほかミナ ペルホネンのデザインによるインテリアファブリックやクッション、チェアなどを販売している。



山田さきこ [ビーズアクセサリーアーティスト]

兵庫県尼崎市生まれ。インターナショナル・デザイン研究所でグラフィックデザインを専攻。1990年頃より、個展・グループ展を開催。京都市在住。

主な出展ギャラリー

京都：ギャラリーギャラリー、フク和ウチ、ギャラリーにしかわ、イオプラス等

東京：Galerie ワッツ、銀座松屋、イオグラフィックショップアンドギャラリー

---

**【本イベントに関するお問い合わせ先】**

オリエンタルホテル広島 セールス&マーケティング部 PR TEL:082-240-9462 (直) FAX:082-240-9460  
〒730-0026 広島市中区田中町 6-10

山根 春菜 E-mail:haruna.yamane@oriental-hiroshima.com

※画像のデータをお送りいたします。上記電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。